

中外製薬会社説明会

中外製薬株式会社

取締役 上席執行役員 CFO

板垣 利明

2022年6月15日（収録）



本プレゼンテーションについて



本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び将来に関する見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

本日の内容

01

中外製薬について（会社概要）

02

ロシュとの戦略的アライアンス

03

中外製薬の新薬開発・創薬力

04

Q&A【中外の株価動向、為替の影響等】

05

株主還元の方針

中外製薬の概要について教えてください



がん・バイオに強みを持つ、研究開発型製薬企業

医療用医薬品メーカーとして日本トップクラス

売上収益 9,998億円 営業利益 4,341億円 従業員数7,664名 (2021年度決算Coreベース)

国内がん領域で売上シェア 第1位* (2021年度決算ベース)

国内抗体医薬品市場で売上シェア第1位* (2021年度決算ベース)

独自の創薬技術力

国産初の抗体医薬を創製。抗体・中分子等で世界最先端の技術力

ユニークなビジネスモデル

戦略パートナーであるロシュ社が株式59.89%を保有

独立した上場企業として自主的経営を実行



売上収益の構成

2021年度
売上収益 9,998億円

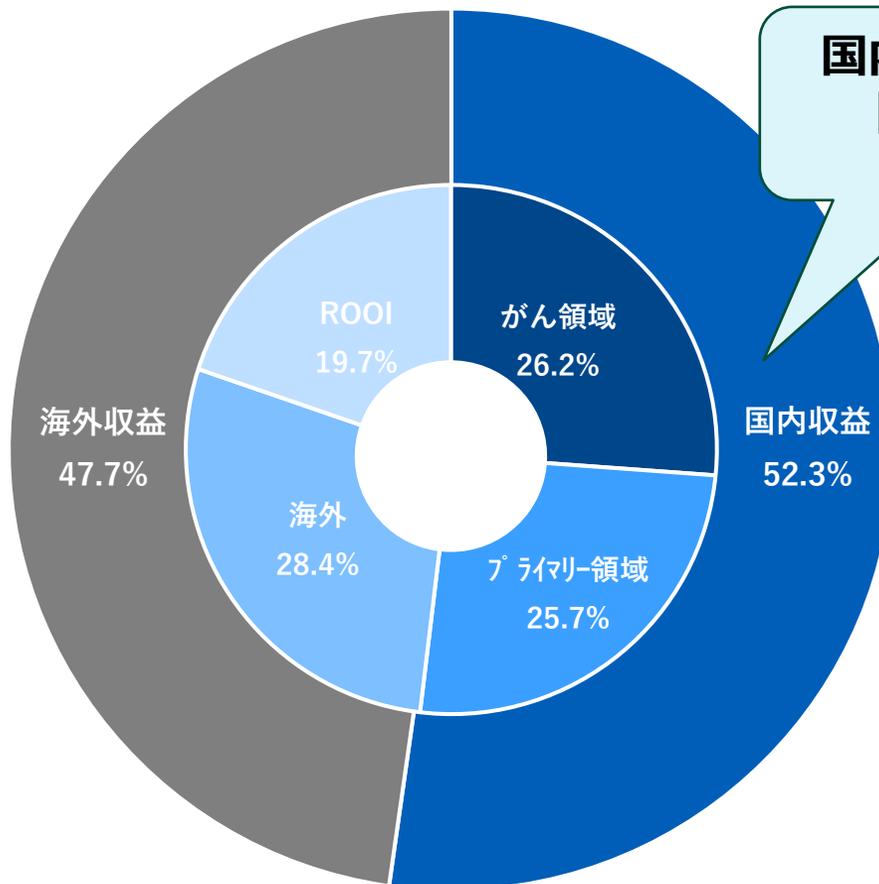
青字：抗体医薬品



プライマリー領域
(がん領域以外)

アクテムラ
ボンビバ
ヘムライブラ
エブリスディ
タミフル
オキサロール

エディロール
スベニール
エンスプリング
セルセプト
ミルセラ



国内がん領域で
トップシェア
15.4%*



がん領域

アバスチン テセントリク
パージェタ アレセンサ
ハーセプチン カドサイラ
リツキサン ガザイバ
ゼローダ ロズリートレク
ポライビー
Foundation Medicine

ROOI: ロイヤルティ等収入及びその他の営業収入

*Copyright © 2022 IQVIA.

出典：IQVIA 医薬品市場統計2021年暦月（1月-12月）をもとに作成 無断転載禁止 市場の定義は中外製薬による

ビジネスモデルを変革

1925



医薬品の輸入商社
として創業

1960s



医療用医薬品への
シフト

1980s



バイオ医薬品への
注力

2002



ロシュとの
戦略的アライアンス

TOP INNOVATOR TOP i 2030

2030年にヘルスケア産業のトップイノベーターになる！

“TOP”には、「日本ではなく世界のトップイノベーター」を目指す想いが込められ、
“I”には、「イノベーター」に加えて「私=I」という2つの意味が重ねられている。

イノベーターの “I”

多様なプレーヤーがイノベーションに挑戦する
世界のヘルスケア領域において
トップクラスの「イノベーター」になります。

私の “I”

価値創造の原動力は、「人」であり、
私たち一人ひとりが「TOP I 2030」の
実現を目指す中外の主役です。

『R&Dアウトプット 倍増』 ・ 『自社グローバル品 毎年上市』

世界最高水準の創薬実現

- ▶ 独自の創薬アイデアを具現化する既存技術基盤の拡張と新規技術基盤の構築
- ▶ R&Dアウトプット倍増により毎年自社グローバル品上市
- ▶ デジタル活用およびグローバル先進プレイヤーとの連携強化によるイノベーション機会の加速

先進的事業モデルの構築

- ▶ デジタルを核としたモデル再構築による患者価値・製品価値の飛躍的向上
- ▶ バリューチェーン全体にわたる生産性の飛躍的向上
- ▶ 医薬品の価値最大化と収益の柱を目指したインサイトビジネスの事業化

Key Drivers ▶ DX ▶ RED SHIFT ▶ Open Innovation

ロシュとの戦略的アライアンスの特徴とは？



ロシュとは



設立	1896年10月
売上高	7兆5,424億円*
営業利益	2兆6,298億円*
従業員数	100,920人
本社	スイス、バーゼル
拠点の数	約150カ国



ビジネスモデル



Roche ロシュグループ

- 中外製品をグローバル市場で最大化
- 豊富なロシュ製品を日本で展開

自社創製品

革新的・挑戦的な創薬に特化

ロシュへの導出により
グローバル開発・販売を加速



- ロシュ製品を日本市場で最大化
- 革新的な中外創製品をグローバルで展開

ロシュ導入品

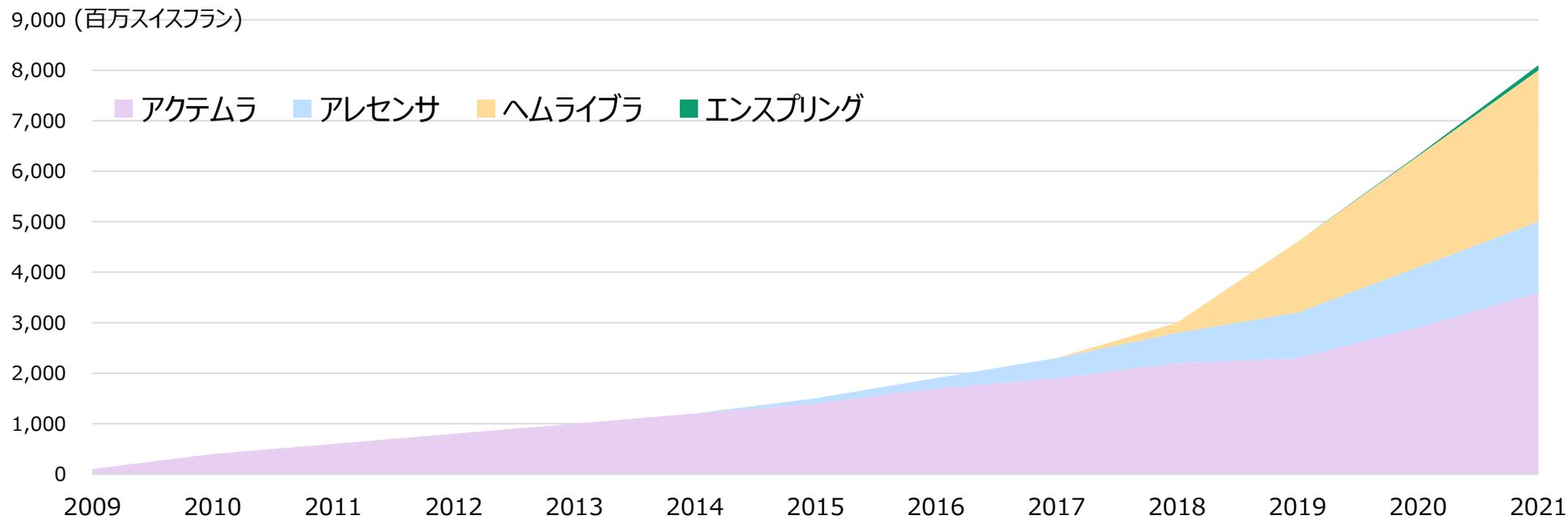
有力新薬候補を
日本市場で独占的に開発・販売

国内事業で安定的な
収益を確保

自社創製品の世界売上高



Roche ロシュグループ



アクテムラ®



- 日本初の抗体医薬品
- 適応症：関節リウマチなど
- 全世界で売上4,000億円以上

アレセンサ®



- 当社が推進する個別化医療の代表例
- 適応症：ALK陽性 肺がん
- 1次治療の承認取得（日/米/欧）
- 全世界で売上1,500億円以上

ヘムライブラ®



- 独自の抗体技術を活用
- 適応症：血友病A
- 全世界で売上3,500億円以上

エンスプリング®

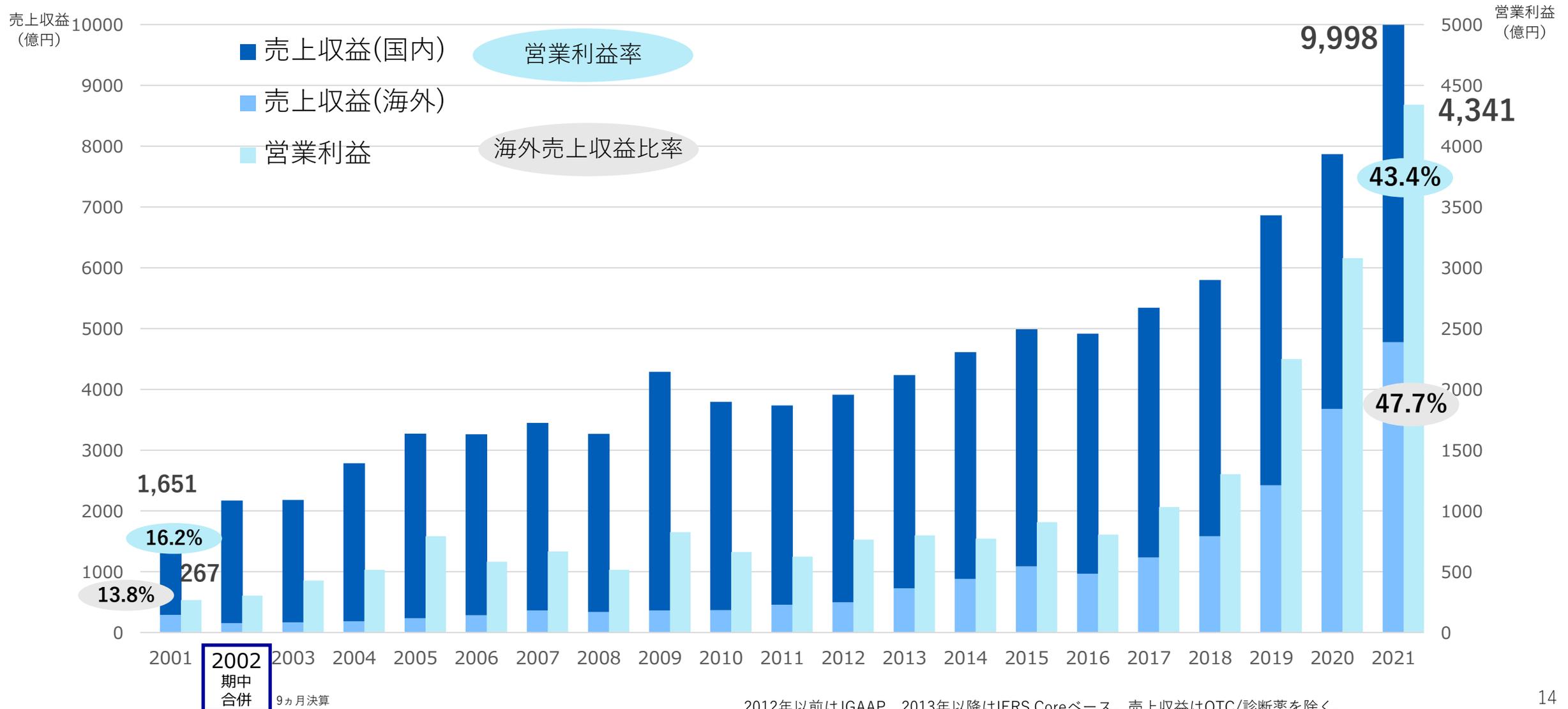


- 独自の抗体技術を活用
- 適応症：視神経脊髄炎
スペクトラム障害

20年間の軌跡



Roche ロシュグループ



研究開発型の製薬企業にとって最も重要な新薬開発の
状況を教えてください。



バイオをはじめとする独自の創薬技術力

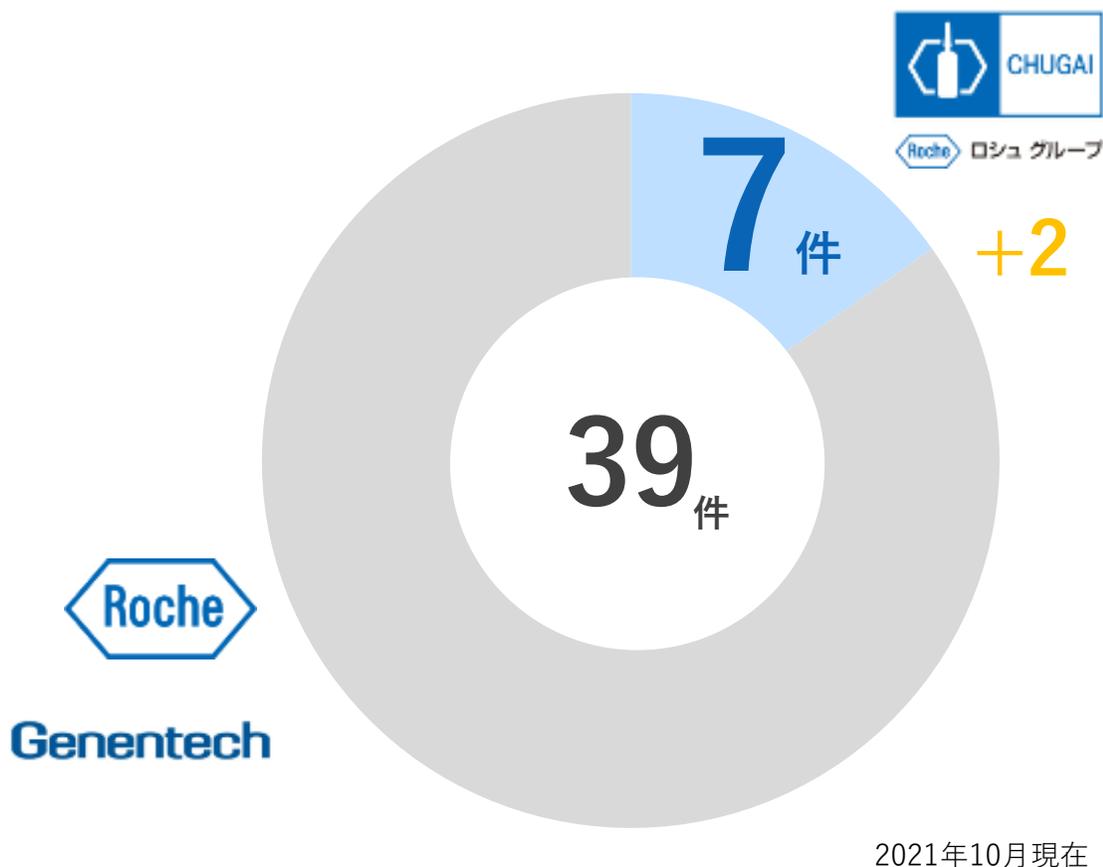
- 抗体エンジニアリング技術、低分子創薬技術に加え中分子創薬技術も開発、疾患ターゲットへの最適なアプローチを可能に
- がん・免疫領域の研究基盤強化による革新的なシーズ獲得



革新的医薬品の創製

当社創製した6品目/9プロジェクトが、ブレイクスルーセラピーに指定

ブレイクスルーセラピー指定制度：革新的な治療薬の開発・審査の促進を目的にした米国食品医薬品局（FDA）の制度

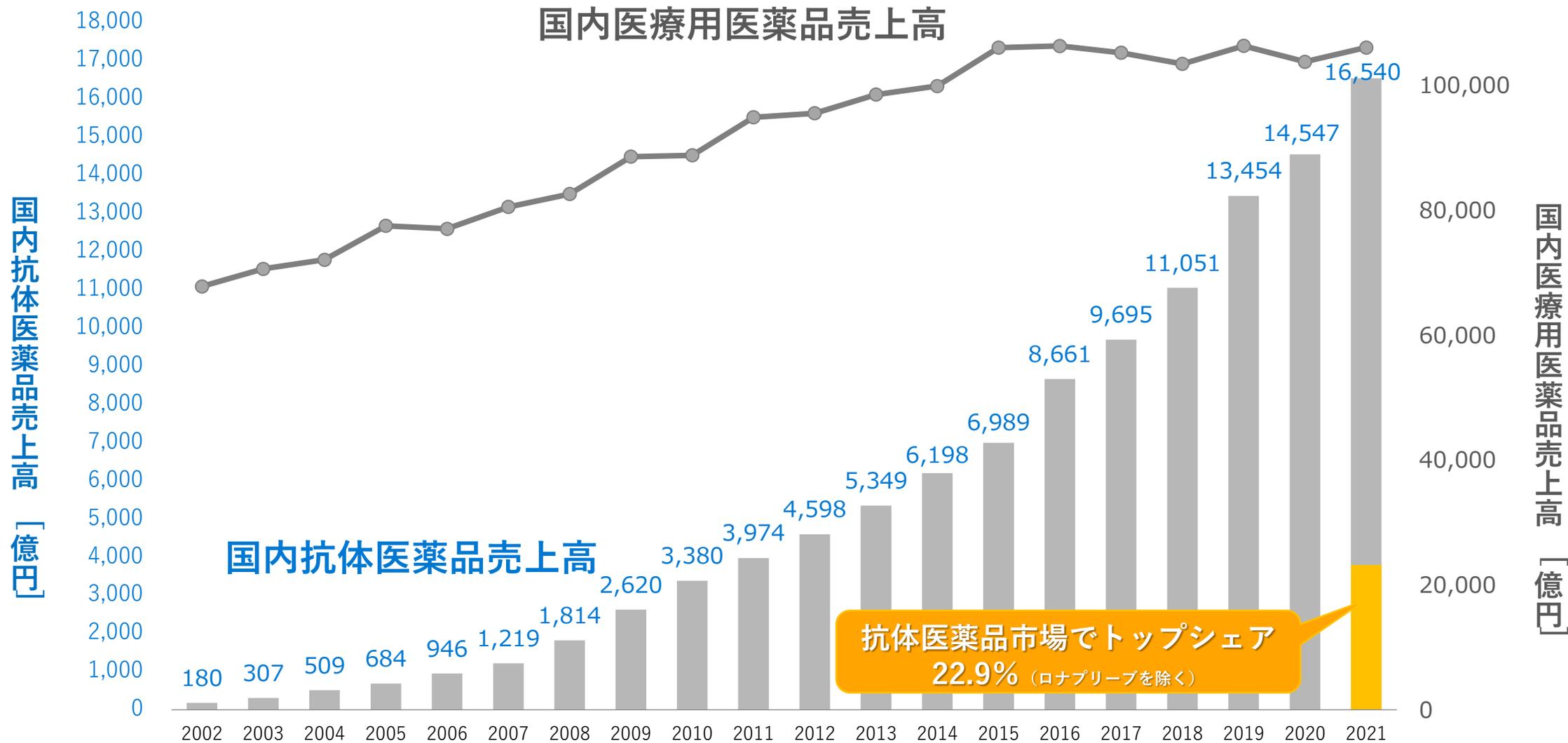


年度	品目	適応症
2021	VS-6766 (CKI27)	漿液性卵巣がん2次治療 (Verastem社にて開発中)
2019	ネモリズマブ	結節性痒疹 (ガルデルマ社にて開発中)
2018	エンズプリング	視神経脊髄炎スペクトラム
	ヘムライブラ	血友病A (非インヒビター)
2016	アクテムラ	巨細胞性動脈炎
	アレセンサ	ALK陽性非小細胞肺癌1次治療
2015	アクテムラ	全身性強皮症
	ヘムライブラ	血友病A (インヒビター)
2013	アレセンサ	ALK陽性非小細胞肺癌2次治療

抗体医薬品の国内売上高推移



Roche ロシュグループ



豊富な自社創製品の開発ポートフォリオ



Roche ロシュグループ

2022年6月15日現在

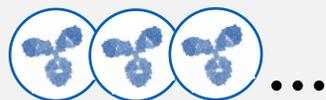
創薬研究・リード骨格の最適化

GLP-Tox

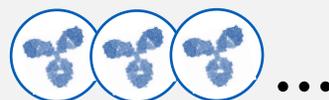
臨床試験

承認済み

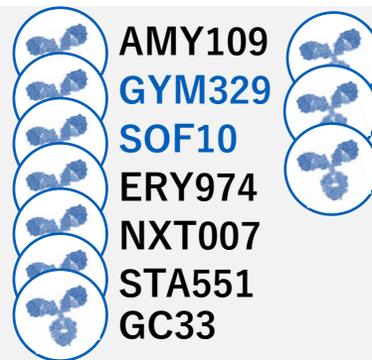
抗体医薬品



>20



6



AMY109
GYM329
SOF10
ERY974
NXT007
STA551
GC33

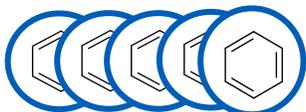


クロバリマブ
エンズプリング(gMG)
ヘムライブラ(AHA)



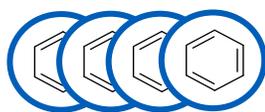
エンズプリング
ヘムライブラ
アクテムラ
ミチーガ

低分子医薬品



ヒット化合物の同定

5



リード骨格の最適化

4

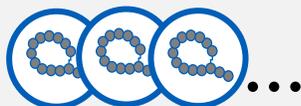


SPYK04
EOS789
OWL833
CKI27
アレセンサ(NSCLC adjuvant)



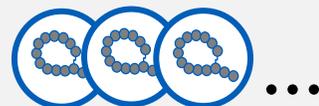
アレセンサ
エディロール
オキサロール
デベルザ

中分子医薬品



リード骨格の同定

16



リード骨格の最適化

10



LUNA18

このロボットみたいなのは何ですか？



ちゅら坊

世界中の人々の何気ないシーンを見つめるロボット。
何のために日々研究・開発を重ね、イノベーションを
生み出し続けるのか。

中外製薬グループの仲間たちがその目的をいつでも胸
に刻めるよう、かけがえのない日常を映し出す存在。
人間にとっても興味があり、ときどき人間より人間っぽ
いことを言う。



ChuLab

先日DX銘柄でグランプリを取得されましたが、創薬分野でのDXの取組みについて教えてください。

DX銘柄

成長戦略「TOP I 2030」とDX推進に向けたビジョン「CHUGAI DIGITAL VISION 2030」が連動し、創薬、生産プロセスから、医療関係者および患者さんまで網羅した取り組み実績が、総合的に高く評価される



DXグランプリ2022
Digital Transformation



DX銘柄2020
Digital Transformation



DX銘柄2021
Digital Transformation



DX銘柄2022
Digital Transformation



CHUGAI
DIGITAL

CHUGAI DIGITAL VISION 2030

3つの基本戦略とロードマップ

Phase 1 ヒト・文化を変える

Phase 2 ビジネスを変える

Phase 3 社会を変える

革新的なサービスの提供

- 医薬品価値を最大化する領域での検討
- インサイトビジネスへの取り組み

- 真の個別化医療実現に向けた領域拡大

デジタルを活用した革新的な新業創出

- 創業プロセスの革新(AIの活用など)、開発プロセスの革新(RWD戦略、バーチャル試験など)
- 患者アウトカムの可視化による医薬品の新たな価値証明(デジタルバイオマーカーなど)

すべてのバリューチェーン効率化

- デジタルプラントの実現
- データドリブンの営業活動の高度化
- 開発業務の効率化、遠隔化
- RPA(Reconsider Productive Approach)による定型業務の自動化

デジタル基盤の強化

- デジタル戦略IT基盤の確立
- 中外社員・組織風土・文化の改革
- デジタルイノベーションラボの創立
- CHUGAI DIGITAL ACADEMYによる人財基盤強化
- 外部連携/オープンイノベーションの推進
- Global project開始

2021

2024

2030

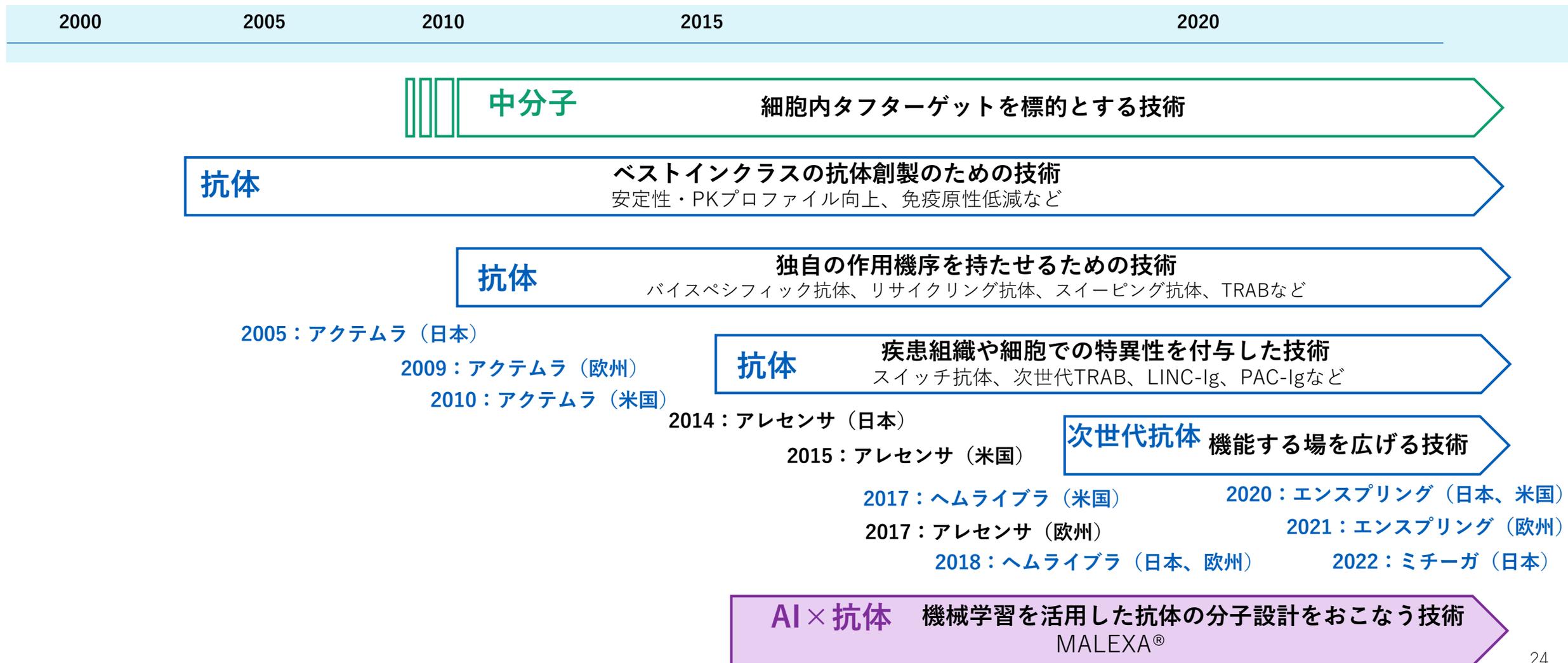
CHUGAI
DIGITAL
VISION
2030実現

独自創薬技術の進化



創薬技術の進化と自社創製品の承認時期

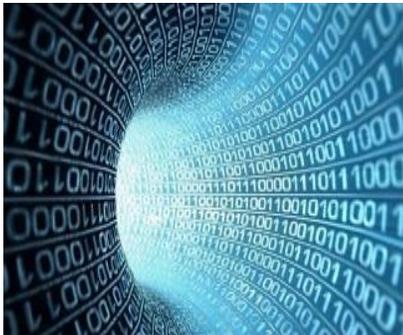
青字：抗体医薬品 黒字：低分子医薬品



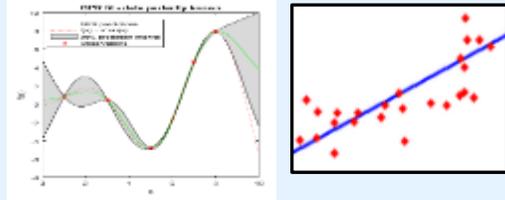
創薬におけるデジタル活用事例（抗体×AI） MALEXA®



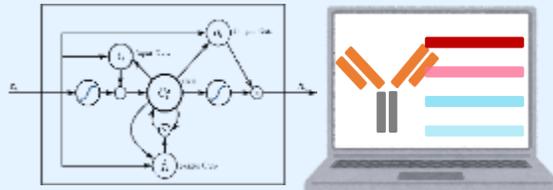
多様な抗体の
特性Data



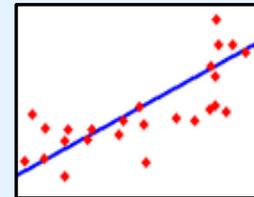
特性予測モデル



新規抗体配列生成



AIによる 開発候補提案



研究者による
評価・判断



実験

AI

実験

- ✓ 新規配列の予測結果を実験に提案。
- ✓ 試行錯誤のスピードアップとイノベーションの確率上昇が期待。

コロナ後を見据えた中長期の成長



中長期の売上収益成長見通し（ロナプリーブ除く）

- 短中期：複数自社創製主力品のさらなる市場浸透とロシュ品の新薬上市により、大型品アクテムラ、アバスチンの売上減少を補い、成長基調を見込む
- 長期：自社創製品の売上成長と新規抗体技術・中分子による自社創製早期開発品の上市、ロシュ品の国内成長・上市により、国内外ともに増収と持続成長を見込む

<後発品による収益圧迫>

- ・アクテムラ国内外
- ・アバスチン国内

- ・薬価低減
- ・競合（ヘムライブラ等）

<自社創製主力品・新製品

海外年間市場売上ポテンシャル>

- ・アレセンサ 1,000億円超（14年発売）
- ・ヘムライブラ 4,000億円超（18年発売）
- ・エンズプリング 2,000億円超（21年発売）
- ・クロバリマブ 1,000億円超（23年申請予定）
- ・ネモリズマブ 2,000億円超

<国内主力品・新製品年間市場売上ポテンシャル>

- ・テセントリク 1,000億円超（18年発売）
- ・ポライビー 300億円超（21年発売）
- ・エブリスディ 150億円超（21年発売）
- ・ファリシマブ 300億円超（22年発売予定）
- ・チラゴルマブ 150億円超（22年申請予定）
- ・HER/PER配合剤 150億円超（22年申請予定）
- ・ガンテネルマブ 300億円超（23年申請予定）
- ・Giredestrant 150億円超（24年以降申請予定）

<自社主力品成熟化>

- ・ヘムライブラ
- ・アレセンサ

- ・薬価低減
- ・競合

<自社創製品の成長・収益最大化>

- ・エンズプリング
- ・クロバリマブ
- ・ネモリズマブ
- ・OWL833

<自社早期開発品の収益化>

- ・抗体/低分子プロジェクト
STA551, SPYK04, SOF10,
GYM329, NXT007, AMY109 等
- ・中分子プロジェクト LUNA18 等

<ロシュ品国内成長と上市による収益拡大>

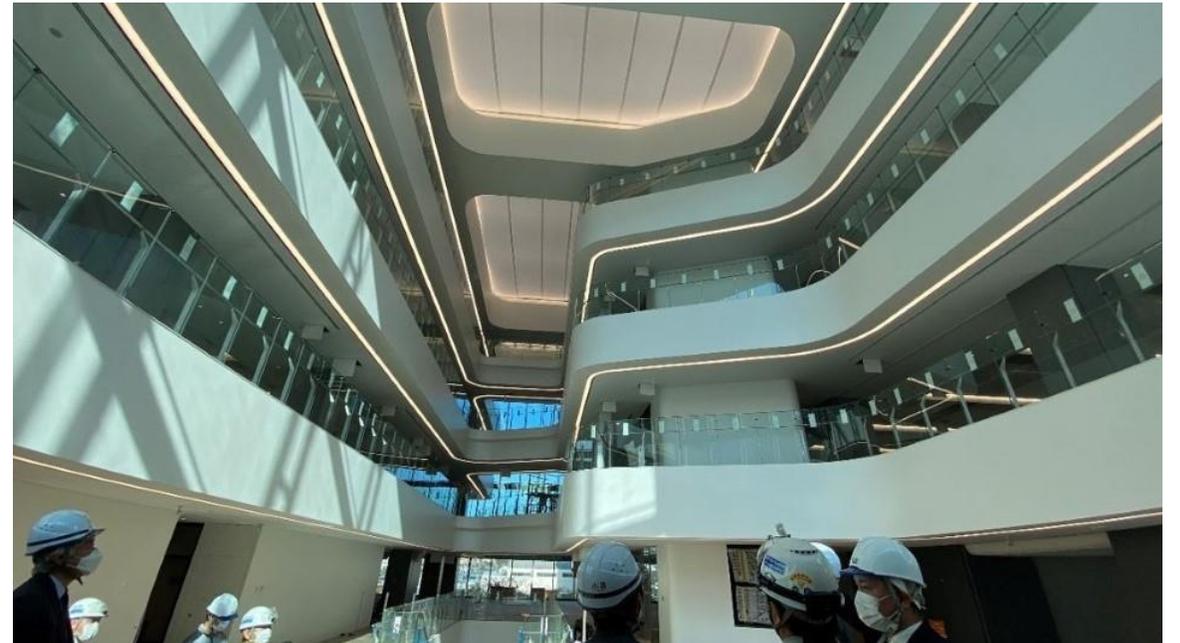
- テセントリク, ポライビー, エブリスディ,
ファリシマブ, チラゴルマブ, ガンテネルマブ

中期（～2025年）

長期（～2030年）

CLiSPY (Chugai Life Science Park Yokohama)

- グローバルで最高品質の革新的新薬を創出するための中核的研究拠点を建設中
- 投資額 1,288億円
- 2022年10月竣工、2023年4月稼働予定
- 世界最高水準の創薬により、2030年に「R&Dアウトプットの倍増」を実現します



建設中のCLiSPY (2022年4月12日時点)

製造拠点



Roche ロシュグループ

浮間工場

原薬： バイオ
製剤： 注射剤/ 固形剤



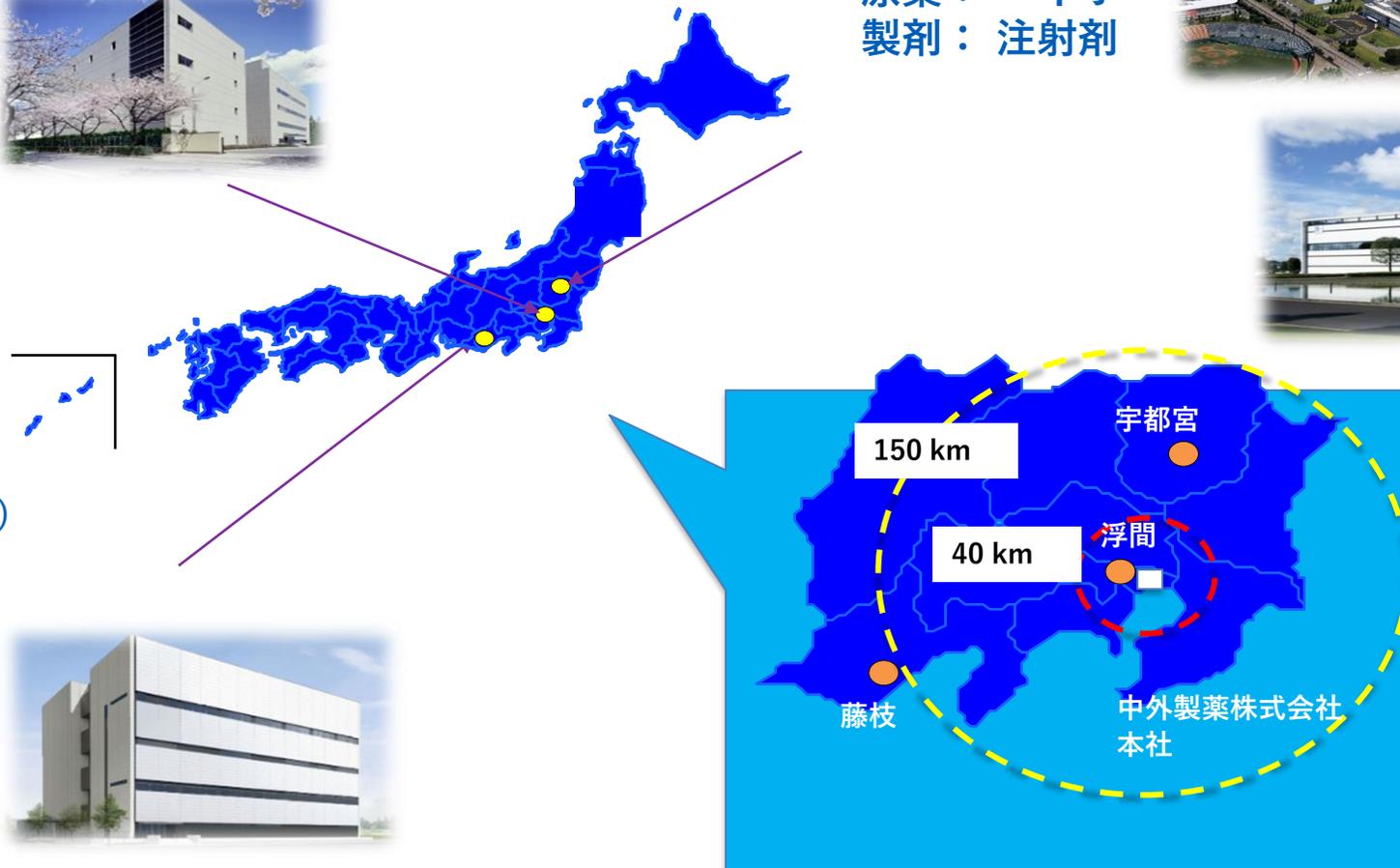
宇都宮工場

原薬： バイオ
製剤： 注射剤



藤枝工場

原薬： 合成（低分子、中分子）
製剤： 固形剤



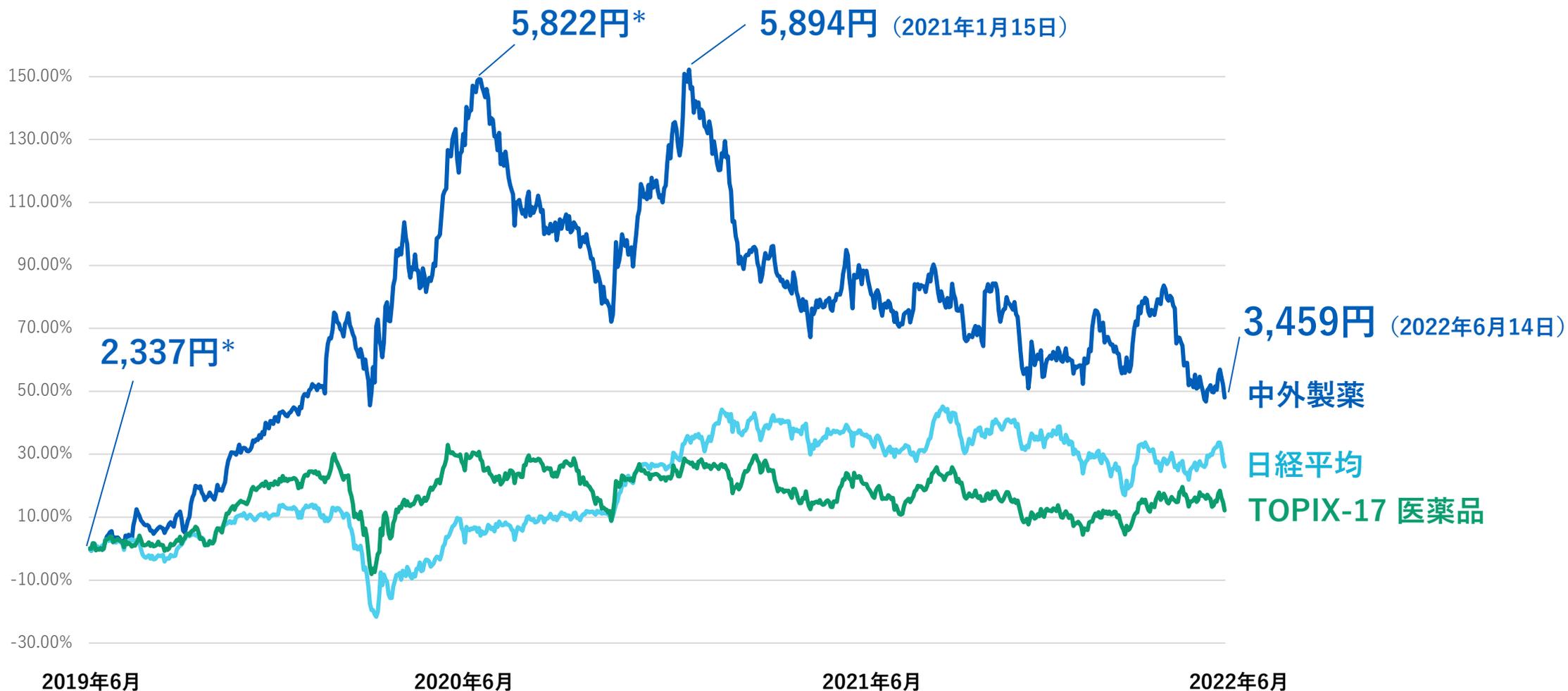
直近の株価の状況をどのように捉えていますか？



株価推移



Roche ロシュ グループ



*：2020年7月1日を効力発生日として普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
2020年6月30日以前の株価は、当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

円安の影響は？



株主還元の方針



株式の基本情報



Roche ロシュグループ

■ 単元株：100株 ■ 証券コード：4519（東証プライム市場） ■ 株主優待：なし

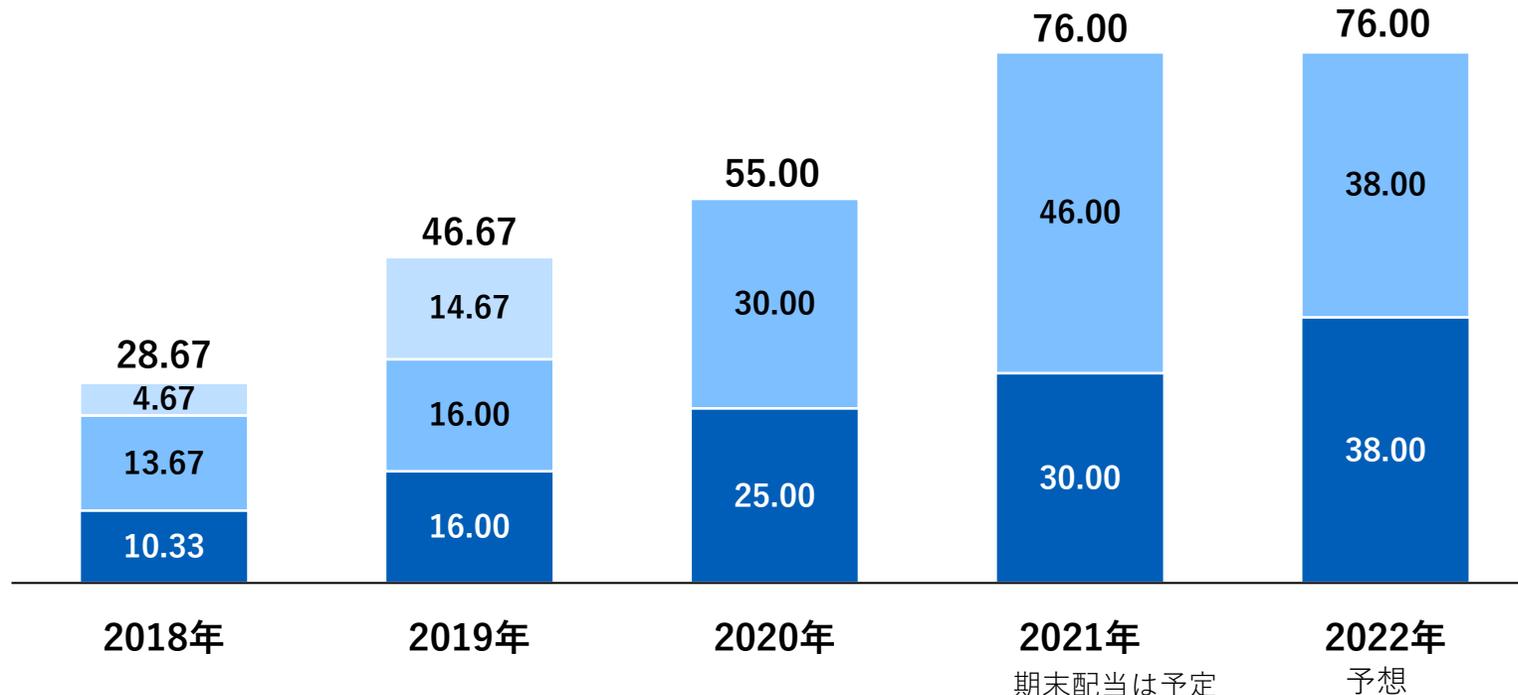
■ 利益配分に関する基本方針

戦略的な投資資金需要や業績見通しを勘案した上で、Core EPS対比**平均45%の配当性向を目処に、安定的な配当**を行うことを目標とします。

【円】

期末配当（特別）
期末配当（普通）
中間配当

2020年7月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行った。
2018年期首に株式分割が行われたと仮定して算出



配当性向	5年平均	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
	単年度	48.6%	48.7%	45.8%	41.2%	42.9%

お問い合わせ先

広報IR部 インベスターリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0554

E-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当 : 櫻井、佐藤、島村、吉村、山田



Roche ロシュ グループ

創造で、想像を超える。